

殺し屋ケラー まさかの **復活!**

 ときわ書店 船橋本店
宇田川拓也さん

よき夫、よき父であろうとする孤高の殺し屋の日常が、こんなにも滋味深く、渴いた心に染み入るとは! このままいつまでも読み続けていたくなる、心憎いほど面白い、グランドマスターの絶品だ。

 有隣堂 ヨドバシAKIBA店
梅原潤一さん

ローレンス・ブロックファン、そしてケラーファンの皆様おめでとうございます!

祝! ケラー、殺し屋稼業再開! より切手好きに(笑)、より子煩悩に(!)なって帰ってきた彼に是非再会して下さい! 小粋な会話、流麗なストーリー展開、そして後味の良い最高の幕切れ! これ以上何が欲しい!? いや何もいらぬ! っくらい面白いです!!

 代官山 蔦屋書店
間室道子さん

なんの苦悩もなく、あっさり殺し屋稼業に復帰したケラーに拍手です。自分の仕事に対して余計な力みやセンチメンタルさがないのはプロ中のプロ。だからケラーの怖さは暴力シーンではない(じっさい、ほとんど出てこない)。「どんな武器を」と考え、「自分には手がある」と彼が思うシーンがあるのだが、ここがいちばん怖い。

LAWRENCE BLOCK